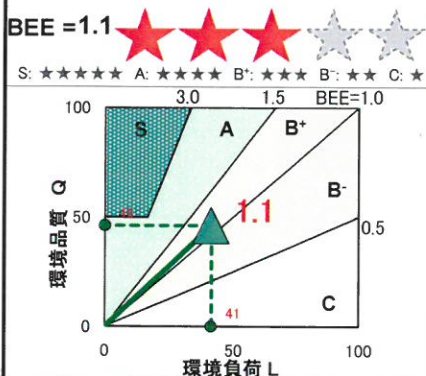


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

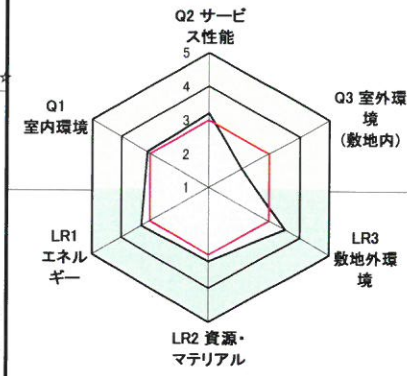
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |                      |        | 1-2 外観                                 |  |
|----------|----------------------|--------|----------------------------------------|--|
| 建物名称     | (仮称)ホームプラザナフコ東鳥取店    | 階数     | 外観パース等<br>図を添付するときは<br>シートの保護を解除してください |  |
| 建設地      | 鳥取県鳥取市国府町新通り4丁目40    | 構造     |                                        |  |
| 用途地域     | 準工業地域、法22条指定区域       | 平均居住人員 |                                        |  |
| 地域区分     | 5地域                  | 年間使用時間 |                                        |  |
| 建物用途     | 物販店                  | 評価の段階  |                                        |  |
| 竣工年      | 2019年7月 予定           | 評価の実施日 |                                        |  |
| 敷地面積     | 7,468 m <sup>2</sup> | 作成者    |                                        |  |
| 建築面積     | 4,442 m <sup>2</sup> | 確認日    |                                        |  |
| 延床面積     | 8,483 m <sup>2</sup> | 確認者    |                                        |  |

## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)

2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

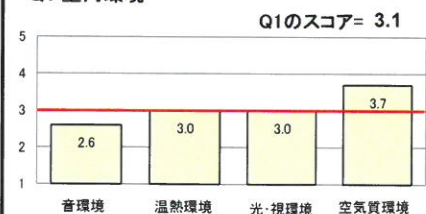
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

## Q 環境品質

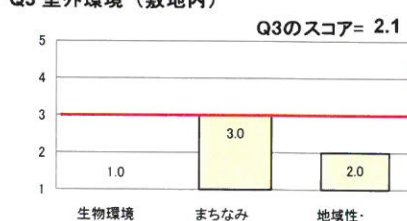
## Q1 室内環境



## Q2 サービス性能

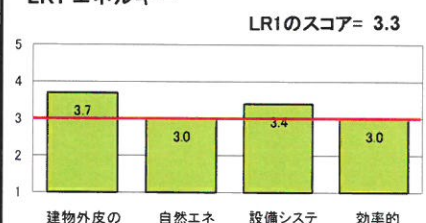


## Q3 室外環境(敷地内)

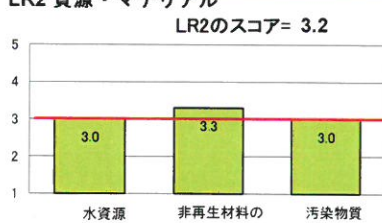


## LR 環境負荷低減性

## LR1 エネルギー



## LR2 資源・マテリアル



## LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

## 総合

LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。

## その他

特になし

## Q1 室内環境

内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、建物内は全面禁煙とするなど、室内環境の向上に努めた。

## Q2 サービス性能

耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。

## Q3 室外環境(敷地内)

緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。

## LR1 エネルギー

断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。

## LR2 資源・マテリアル

躯体+石膏ボード+仕上により、躯体と仕上材が容易に分別可能。二重天井により、内装材と設備が錯綜せず容易に取り外すことが可能。

## LR3 敷地外環境

適切な量の駐車場・自転車置場を設置し、駐車場は2か所に分けて配置することにより、周辺道路渋滞緩和に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される